

2022・11・6

日本歯科医学会（福井県）講演：演題・抄録・略歴

演者：（医）健志会 ミナミ歯科クリニック

大阪市淀川区西中島5-12-15 新大阪浪速ビル2F

主任歯科技工士 藤本 光治（ふじもと みつじ）

■ 略歴

- 1985年 日本歯科学院専門学校卒業
- 1994年 （医）健志会 ミナミ歯科クリニック
- 2000年 大阪セラミックトレーニングセンター非常勤講師
- 2004年 （有）デンタル・クリエーション・アート
- 2006年 （医）健志会 ミナミ歯科クリニック主任歯科技工士
- 2007年 新大阪歯科技工士専門学校専攻科非常勤講師
- 2008年 大阪 SJCD 臨床テクニシャンコース講師（現コースディレクター）

■ 所属

- ・日本歯科技工士会会員（大阪府）
- ・日本歯科技工学会会員
- ・日本歯科審美学会会員
- ・日本臨床歯科学会大阪支部（大阪 SJCD）理事
- ・日本顎咬合学会指導歯科技工士

演題： 『 補綴修復治療における歯科技工士の役割 』

～デンティスト・テクニシャンの連携の重要性～

■ 抄録

補綴治療を成功に導く上で歯科技工士にとっても不可欠なことは、治療ゴールのイメージを歯科医師と共有することです。我々、歯科技工士は補綴チームの一員として審美的調和のみならず機能的調和・生物学的調和をトータルで達成すべく技術的研鑽と知識の修得につとめ補綴治療の成功に貢献しなければなりません。

今後、歯科医療界にますますデジタルテクノロジーの進化、発展によりさらにその波は加速すると思われませんが歯科治療の本質は変わりません。そしてそのような時代になればなるほど『物作り』ではなく補綴治療の目的・概念を理解し歯科技工をおこなうことが大切です。本講演ではデジタルへの対応も含め、歯科技工士としてどのように学びどのように考えれば補綴治療を成功に導くための役割を果たせるのか？

をテーマに“実践的”に知識と技術を臨床に落とし込み歯科医師とのコラボレーションのもと治療結果に反映した症例を通して皆様に臨床体感をしていただき皆様の明日の臨床の一助となれば幸いに思います。